富山市科学博物館
TOYAMA SCIENCE MUSEUM

富山市に出現したオオミスジコウガイビル

著者	布村 昇
雑誌名	富山市科学文化センター研究報告
号	23
ページ	165
発行年	2000-03-25
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=739

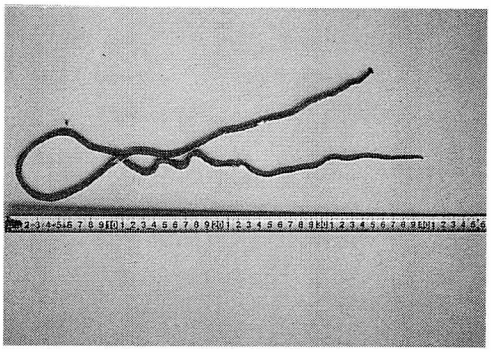
富山市科学文化センター研究報告第23号，pp.165（2000）

短　報

富山市に出現したオオミスジコウガイビル*

Occurrences of *Bipalium nobile* (land turbellaria) from Toyama City

布村　昇
Noboru　Nunomura
富山市科学文化センター



オオミスジコウガイビル*Bipalium nobile* Kawakatsu et Makino, は1962年に初めて東京都千代田区の中心部に位置する皇居と北の丸公園で発見された以後，秋田，新潟，香川，高知等で記録されてきたが，富山県内では従来まったく発見されたことがなかった。

しかし，1999年７月富山市五本榎の庭で「１ｍほどのヒルのような奇妙な動物」が生息しているとの知らせで富山市科学文化センターに生体が持ち込まれ，筆者が外形から本種と同定しその生息を確認した。その後，市内各地で生息が報告され，その幾つかは標本として富山市科学文化センターに保管されている。しかし，その後は全く発見されていない。

なお，富山県内では，木村正嗣氏から「下新川郡朝日町の平柳で，1997年から１ｍになる個体を確認していると」の連絡を受けた。新潟県境に近いこの地には富山市より先に分布を広げていたようである。

本報告を終えるにあたり，報告をお寄せ下さった勝原修，中平聡子，水野信明，酒井信行，木村正嗣の各氏，藤女子大学の川勝正治博士には貴重な論文の恵与を受けた，南部久男博士には富山市五本榎産の標本について，その動物の生体写真を撮影していただいた。

参考文献

Kawakatsu, M. Makino, N. and Shiraiwa, Y., 1982. *Bipalium nobile* sp. nov., (Turbellaria, Tricladida, Terricola), a new land planarian from Tokyo. Annot. Zool. Japon., 55:236-262.

川勝正治，1983，コウガイビルの話．遺伝37（9）52-61.

川勝正治，1991．オオミスジコウガイビル．青木淳一（編）日本産土壌動物，分類のための図解検索ウズムシ綱，fig.11（1-3），fig.12（1），fig.14（1）東海大学出版会.

川勝正治，1999．オオミスジコウガイビル．青木淳一（編）日本産土壌動物，分類のための図解検索ウズムシ綱東海大学出版会．6-7.

川勝正治・布村昇，1997．扁形動物渦虫綱．今福道夫・奥谷喬司．武田正倫（編）日本動物大百科７．（無脊椎動物）:50-51，54，平凡社，東京.

川勝正治・青木淳一，1968．皇居内で採集された外国産コウガイビル．遺伝22（10）:45-47.

川勝正治・青木淳一，1969．皇居内で採集された外国産コウガイビル（補遺）．採集と飼育31:374-377

川勝正治・村上均・山本清彦・米山昇，1998．オオミスジコウガイビルの分布記録．しぶきつぼ.

村山均・川勝正治，1999．オオミスジコウガイビルの新潟県内分布．しぶきつぼ（新潟貝類会誌）20:39-42.

	発　見　場　所	環　　境	体長(cm)	発　見　日	発　見　者
1	富山市五本榎	庭	95cm	99.7. 3	勝原　　修
2	富山市五本榎	庭	45cm	99.7. 7	勝原　　修
3	富山市北代新			99.7.13	中平　聡子
4	富山市黒瀬	公園		99.7.16	水野　信明
5	富山市堀川小泉	住宅地の溝	約50cm	99.7.20	布村　　昇
6	富山市下飯野		30cm	99.7.24	水野　信明
7	富山市中島	庭に３頭出現	30cmほど	99.7.27	酒井　信行

＊富山市科学文化センター研究業績第223号